




雪若丸 情報

第1号

庄内総合支庁農業技術普及課 (TEL 0235-64-2103)

6月中の有効茎確保を目指しましょう！！

- 本年の水稻生育は、気温の高い日が続いたため、活着・生育は順調で、茎数も指標より多く推移しています。**目標茎数（460～520本/m²）を確保した圃場から、速やかに中干しに入りましょう。**
- 「雪若丸」の葉色は「はえぬき」よりも濃いめで推移します。**SPAD値で40（葉色板で5）を低下させないように管理しましょう。**
- 6月20日の生育が不足している場合（茎数300本/m²以下、葉色40以下）は、追肥が必要になります。（「雪若丸」マニュアル13ページの初期生育が不足した場合の対応を確認しましょう。）

1. 生育調査結果（6月11日調査）

調査圃場の生育は、**草丈、葉数、葉色は指標並み、茎数は指標よりも多く**推移しています。6月30日の生育が560～750本/m²、葉色（SPAD値）44以下になるよう、水管理や中干しで生育をコントロールしましょう。

生育調査圃場の状況（鶴岡市下小中）

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)	葉色(SPAD)
本年	26.0	367	6.8	41.2
指標	26.8	304	7.0	41.3
指標比差	97	121	-0.2	-0.1

2. 6月20日頃までの生育量が不足した場合の対応

上記圃場では目標茎数よりも多く、生育は順調ですが、初期生育が顕著に不足している圃場では以下の対応を検討しましょう。

① 土壌の異常還元（ワキ）対策

ワキが見られた場合は、速やかに水交換や夜間落水、2～3日程度の田干しを行いましょう。

② 施肥による生育改善

①を実施した上で必要に応じて、窒素成分量1kg/10程度を補完施用します。（この場合、穂肥量は減肥してください。）



熱中症予防強化月間

～ 水分補給と休憩を忘れずに ～